

アプリケーションカタログ 腹膜透析液中の塩化ナトリウム

関連業界	:	医薬品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/沈殿滴定
関連規格	:	日本薬局方

1. 概要

腹膜透析液中の塩化ナトリウムの濃度を「日本薬局方第15局」に規定されている、塩化ナトリウムの定量方法を参考に測定します。0.1mol/L 硝酸銀溶液で滴定し、その滴定量より塩化ナトリウム濃度を算出します。なお、当量点は滴定曲線の最大変曲点です。

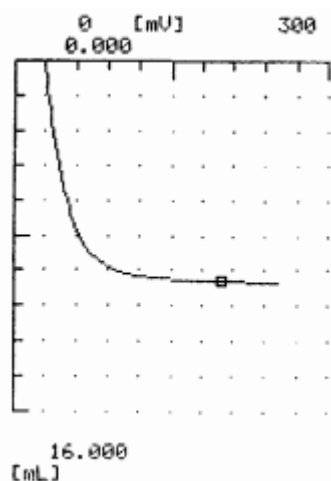
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	複合銀電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 硝酸銀溶液
滴定溶媒	:	硝酸(1+1)

4. 測定例



-Titration curve-

-Measurement results-			
	Sample (g)	Titer (mL)	Conc. (%)
1	10.0	10.0843	101.60
2	10.0	10.0803	101.56
3	10.0	10.0835	101.59
Average (%)			101.58
S.D. (%)			0.0208
R.S.D. (%)			0.0205

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>